

## ■部会 Report

# 企画部会の活動報告

## —2009年度の活動報告—

日本風力発電協会 理事／(旧)企画部会長 **鈴木 章弘**  
株式会社風力エネルギー研究所

### はじめに

企画部会は、風力発電の普及促進に関する制度の検討や提言の取りまとめ、協会の活動全般に関わる活動を行いました。

風車騒音、バードストライク等、風車に関わる環境問題について、取り組みを強化するとともに、より幅の広い対応を可能とするため、環境部会を吸収合併しましたが、2009年春の風力発電事業者懇話会との新団体設立に伴い、企画部会は「政策部会」と「環境部会」にあらためて分割されることになりました。

### 2009年度の活動内容

風力発電に関する信頼性の高い情報提供を行うべく、外部の各種セミナーでの講演、マスコミ対応や各政党へのプレゼンテーション等、JWPA事務局広報室、企画室と連携し、時機を捉えた適切な情報提供に努めました。

#### (1) 風力発電に関する各種セミナー

**第1回**：「IEC61400-26 風力発電セミナー」、2009年10月27日、国際部会主催

風車稼働率の技術仕様書を作成している IEC 審議会が東京で開催された機会を捉え、広く日本の風力発電業界の発展に資するテーマでの講演をしていただきました。

**第2回**：「日本型風力発電ガイドラインに関する技術講習会」、2009年11月25日、風況部会主催

NEDO が公開したガイドラインについて、関係者および専門家によるガイドラインの解説、適用の実際、およびその問題点について紹介しました。

**第3回**：「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化マニュアル」の説明および意見聴取会、2009年12月7日、企画部会主催

環境省が編纂を進めているバードストライクに対する立地適正化マニュアルについて、JWPA 会員や風力発電事業者懇話会会員などを対象として意見集約のための説明会を実施し、意見収集の上、環境省の検討会に提出しました。

**第4回**：「風力発電の環境影響評価規程（自主規制）」、2010年3月30日、企画部会主催

「風力発電の環境影響評価規程（自主規制）」について、JWPA 会員や懇話会会員などを対象とした説明会を実施しました。さらに検討を進めた案は2010年5月の社員総会時にも説明しました。併せて、4月から施行された土壌汚染対策法の改正について説明しました。

#### (2) 環境・騒音ワーキンググループ

2009年3月、環境省が風車から発生する騒音・低周波音に関する諸外国の規制事例の調査結果を公表したことから、これが風車設置に関する過剰な規制とならないよう、風力業界として対応すべく、JWPA と懇話会合同でのワーキンググループを立ち上げました。更には、風車の（超）低周波音が原因であるとする健康被害の訴え、それに関するマスコミの報道が拡がりを見せたこと、また風力発電所に対する環境アセスメントの法制化が議論される状況となったことなどから、前述の風力発電の環境影響評価規程（自主規制）を始めとして、風車の環境対応に関連するテーマの検討や説明資料の作成・公表を活発に行いました。また、経済産業省・資源エネルギー庁ばかりでなく、規制当局である環境省などの関係官庁に対しても、必要な情報を適宜提供するとともに、協力関係の構築に努めました。

#### (3) 新団体検討会

2010年4月、風力発電市場の飛躍的な拡大と責任ある事業の継続を目指して、懇話会と JWPA とが合流し、我が国風力発電産業を代表する新たな団体「一般社団法人日本風力発電協会」が発足しました。その実現に向け、両団体からの代表者による協議機関として「新団体検討会」を設置し、一昨年以來ほぼ2年間に亘り計26回の検討会を開催し、新団体のビジョンやミッション、会員制度を始め、組織体制や諸規程等に関して議論を重ねてきました。

今後はこの検討会の議論を引き継ぎ、理事会および新部会を中心として、発足趣旨を実現すべく組織の整備と充実を進めていく考えです。